

せんぼ 通信 No.6

ば・あ・や・の・う・け・う・り

「バラの花」

「どうもありがとう」・・・そう言って店の外に出たお客さま・・・小走りで店に戻ってきて、真っ赤なバラの花を10本私に。

「結婚式で使う予定だったの・・・津波で避難して・・・今度は原発事故で・・・」とっさのこと、何も言えず頭を下げただけ。世界中を震撼させた、東電の原発事故が、遠い日の事のように感じそうなこの頃、深い赤いバラの花がはっきり思いだされます。一期一会のお客さま・・・想像してみる・・・きっと、新郎・新婦どちらかのお母さん、披露宴で、メッセージと共に受け取る予定の赤いバラの花だったのではないかと・・・

「緊急避難」・・・混乱の中・・・貴重品でもないのに・・・必需品でもないのに・・・しおれてダメになるのがわかっているのに・・・それでも・・・バラの花を手にとって逃げた。同年代のお母さんと思えば胸にしみます。あの事故からまだ4年・・・40年は長い、赤ちゃんが初老になっちゃう。まだまだたくさんの方が、避難生活に止ったまま。・・・ふるさとの光もとめながら・・・

96歳、栃山神2番目のご長寿のキミさん。今もしめ縄作りをして、現役の稼ぎ手・・・そんなキミさんは懐メロも、懐かしそうでない・・・それは農家のお嫁さんは流行歌どころではなかったから・・・。盆踊りなら、お嫁さん達でもと・・・お食事会で復活・・・
「まあだ、太鼓くれーただけっぞ」と70代の皆さんがバチをもって、ソ〜レ、ドン ドン スット コ ドン ドン ドン・集会所の外まで、威勢のよい音が気持ちよくひびいた。50年ぶり位とはりきり、「しばらくぶりでたたかれて太鼓も痛がったべなあ・・・」皆さんとても楽しそう・・・。「やまがみ」に・・・ずうっといられて、いがったない・・・。

孫娘と二人で愛宕様へ初詣・・・1升瓶がどーんと・・・「なんでお酒が?」・・・お・み・き・よ。かわいい手のひらに少しそそいであげたら、「おいし〜い」・・・(なめただけですよ〜) 続いて、枯れ草を踏みしめながら、ウエンデの神様へ。ここでも、二礼二拍一礼。冬の野山が大好き・・・「どうして?」・・・ヘビがいないから。「うふふ・・・」ヘビ大好きな孫娘はニヤッ・・・ヘビを飼いたいとおもっている・・・それは・・・ダメよ〜ダメ・ダメ・・・。
来月、8人のなかよし同級生で6年生に進級・・・すべての子に良い春となりますように。



1月のウエンデ